

宮崎県都城市シビックコア地区

平成12(2000)年12月26日策定

～広域交流拠点と市民活動の舞台づくり～

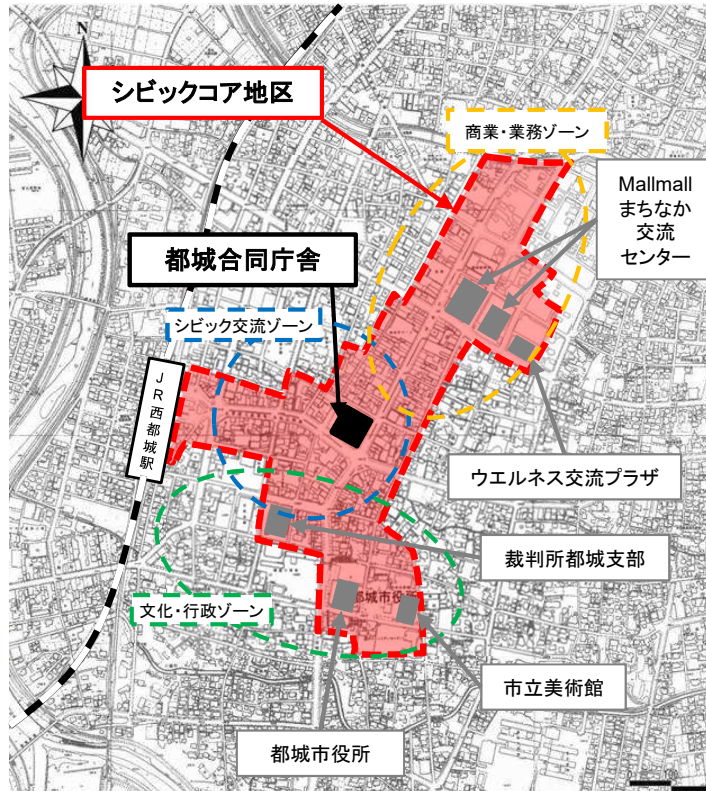
35.1ha

基本方針

- 商業・業務ゾーン、文化・行政ゾーン、シビック交流ゾーンのネットワーク形成
- バリアフリーのまちづくり
- “溜りの空間”・快適な歩行者空間
- 人々が集える空間構成と賑わいの創出

主要施設

- ・都城地方合同庁舎
 - ・裁判所都城支部
 - ・都城市役所
 - ・Mallmallまちなか交流センター
(図書館・保健センター等併設)
 - ・市立美術館
 - ・ウェルネス交流プラザ
- 等



当時の関連都市整備事業

- ・街路事業
- ・土地区画整理事業等



- 中央通りを中心として商業や業務機能が集中している「商業・業務ゾーン」
- 市役所や裁判所・美術館の集中する「文化・行政ゾーン」
- 商業・業務ゾーンと文化・行政ゾーンをつないで相互作用や相乗効果をもたらすように積極的に整備を図っていく「シビック交流ゾーン」



- シビック交流ゾーンの核となる広域交流拠点に国の合同庁舎整備
- まちなみの賑わいや都城らしさの形成のため特色のある歩行者空間の創出



シビックコア地区に整備された官庁施設の概要



- 庁舎名称 (括弧書きは国有財産台帳口座名)
都城合同庁舎 (都城地方合同庁舎)
- 建築年次・規模構造
2003年・SRC造 8階建
- 延床面積
約7,424㎡

【主な取組み】

- ・商店街側に駐車場を配置し、隣接した市の駐車場とともに休日開放
- ・市民の利用できる広場、掲示板を整備 等